

異常があればすぐ届出を

口蹄疫

(こうていえき)

平成12年3月25日、宮崎県で口蹄疫の疑似患畜が発生しました。また、台湾では、口蹄疫が引き続き発生しています。

口蹄疫は、牛、豚、羊がかかり、伝染力が非常に強い悪性の家畜伝染病です。

このため、行政、生産者、関係者が一体となった万全の対策で臨み、我が国の清浄化を進めることが必要です。

都道府県、関係団体の立入検査、消毒などの活動にご協力をお願いします。

症状は、急に熱を出す（牛、豚、羊）。



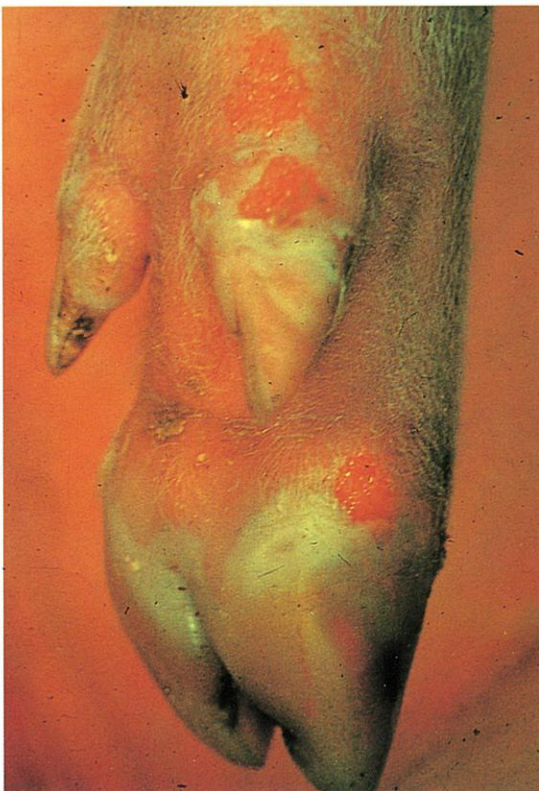
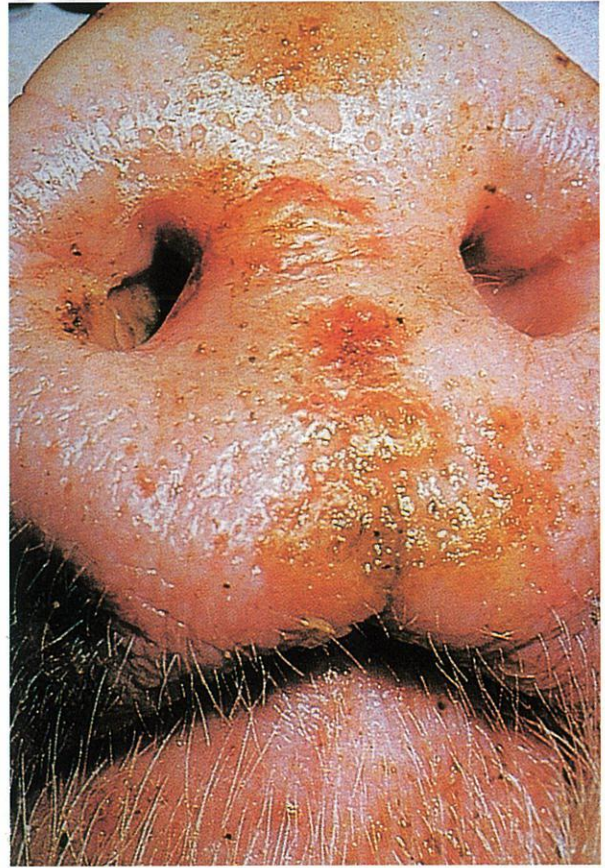
沢山よだれをたらす（牛）。

唇、歯ぐき、舌に水胞（みずぶくれ）ができ、すぐ破れて^{かいよう}潰瘍になる。痛くて物が食べられなくなる（牛）。



つめの周りにも水胞、^{かいよう}潰瘍ができることが多く、痛くて歩くのをいやがる（牛）。

鼻、歯ぐき、舌に水胞（みずぶくれ）ができ、すぐ破れて潰瘍^{かいよう}になる。痛くて食欲がなくなる（豚、羊）。



つめの周りにも水胞、潰瘍^{かいよう}ができ、痛くて歩くのをいやがる（豚、羊）。豚、山羊は死亡率が高いことがある。

皆さんの家畜に

このような症状が少しでも見られたら、すぐ

家畜保健衛生所か

役場あるいは

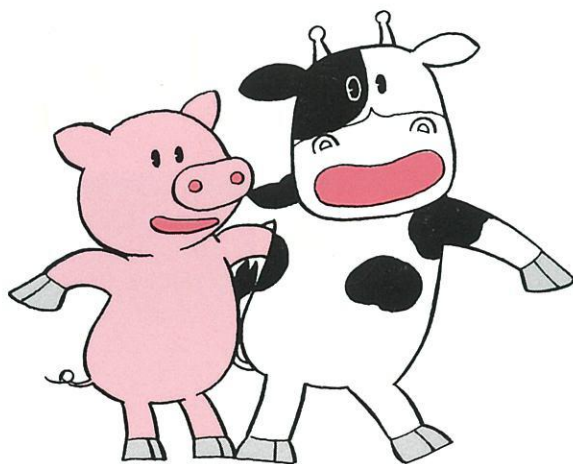
かかりつけの獣医師

まで連絡して下さい。

また、当面、次のことを守りましょう。

- 農場、畜舎の出入りのときの車、長靴、作業服などの消毒を十分行うこと
- 家畜の状態をよく観察すること
- 残飯を飼料にする場合は、十分加熱すること
- 台湾産の稲わら、乾草などの使用は避けること
- 畜産関係者は、台湾をはじめ発生地域への農場視察旅行などを避けること

なお、人は口蹄疫の家畜の肉を食べても影響はありません。



社団法人 **全国家畜畜産物衛生指導協会**

〒106-0041 東京都港区麻布台2-2-1 麻布台ビル

TEL.03(5570)3561